

あなたならどっち?

自由に思い通りのプランニングが出来る注文住宅。
自由に選べる楽しさと同時にどっちにしようか迷うことも。
ここでは、選んだ理由や住み心地について
入居者の声をもとにご紹介していきます。

採光たっぷり
開放感抜群

光熱費は
しっかり節約

リビングに
「吹抜け」をつくる?

事例 1

吹抜けのある リビング

2階以上の高さ
またがって、
天井高が
2フロア分あるリビング



吹抜けのあるリビングの 満足 不満



満足

採光に優れているので、太陽の光が心地いいです。過ごす時間が長いリビングに開放感があるのがうれしいです。



満足

家の中で、家族がどこにいても気配が感じられます。成長していく子供達ともコミュニケーションがとりやすそうです。



不満

夜遅くに帰宅したり、テレビを見るときなどは、2階にいる家族に気を遣います。照明や物音を控えめにしなければなりません。



不満

もう少し、収納があったほうがよかったですね。吹抜け空間をつくるために、2階の部屋数や収納を減らしたので…。

事例 2

通常のリビング 2階に独立した住空間があるリビング



通常のリビングの 満足 不満



満足

家族が多く、荷物もたくさんあるのですが、十分な収納をつくることができたので、家全体が片付いています。



満足

リビングの冷暖房対策を万全にしたので、どの季節も心地よく、光熱費を抑えることができました。



不満

暮らしてみて、リビングに日差しが入る時間が強いことに気がついて…。採光の面で、吹抜けも検討すればよかった。



不満

吹抜けがあるリビングが憧れだったので迷いましたが、結局断念。テレビや雑誌で見かける度に後悔してしまいます。

結論

「吹抜けのあるリビング」はこんなかた向き

- ✓ 立地条件的に、採光に不安があるので、吹抜けで補いたい
- ✓ リビングを開放的に、広く見せたい
- ✓ 子供がいるなど、上下階でコミュニケーションをとりたい

注意ポイント

- ① 必要最低限の居室や収納の確保
- ② 家族の生活時間のズレによる音の問題

居室と収納の配分や、生活時間について、
家族で事前に話し合いを

結論

「通常のリビング」はこんなかた向き

- ✓ 費用重視で、光熱費を極力抑えたい
- ✓ 家族が多く、2階に居室や収納をたっぷり設えたい
- ✓ 音やにおいが2階まで回ることが気になる

注意ポイント

- ① 立地条件による採光性を確認
- ② 天窓やハイサッシにするなどの工夫も必要

居心地いいリビングをつくるため、
立地条件をふまえて採光への工夫を